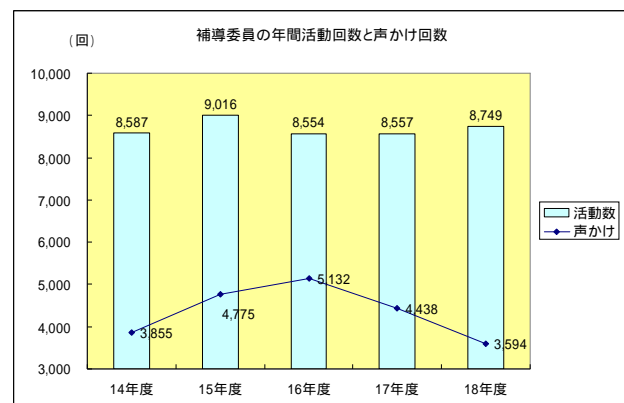
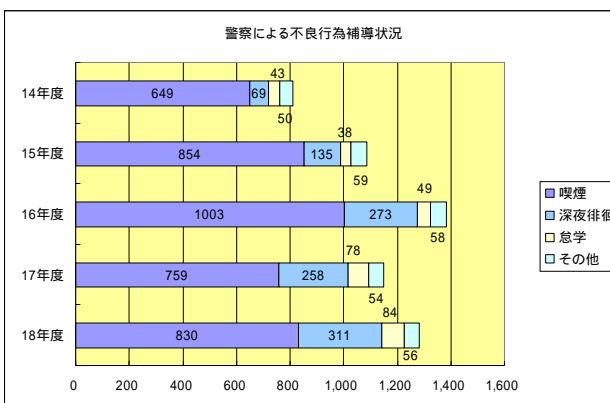
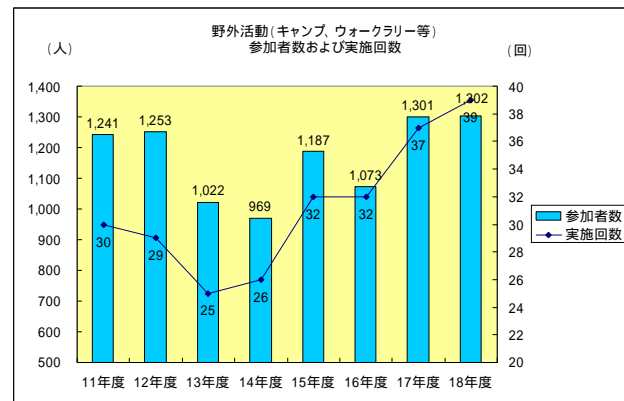
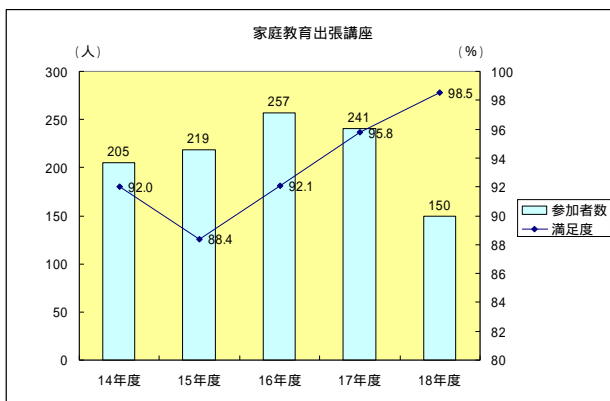


# 11 家庭教育の支援と青少年の健全育成

## 現状と課題

核家族化や共働き世帯の増加、人間関係の希薄化といった社会情勢の変化の中、子どもたちが健やかに成長するためには、家庭教育力向上や地域全体での見守りが非常に重要です。

家庭教育の支援として、幼稚園・保育所等での家庭教育出張講座を行っています。土曜日の午前中は、小学校の運動場を子どもの遊び場として開放しています。年齢層の異なる子どもたちの交流や家族のふれあいを目的に、野外活動の取り組みを行っています。本市の未成年者の補導件数は年間約1,200件であり、その内訳は、喫煙が最も多く全体の6割～7割、次に深夜徘徊が約2割となっています。情報通信機器の進化により、子どもたちの交友関係にも変化が生じており、保護者自身も子どもの実態を把握するのが難しく、大きな課題となっています。



## 基本方針

子どもたちが心豊かで健やかに育つことができるよう、家庭・地域・学校園・行政の連携を強化するとともに、社会参加・体験活動への支援・環境整備を推進していきます。

## 主要な施策展開

- (1) 家庭の教育力の向上  
子どもの教育に第一義的な責任を持つ保護者に対し、啓発活動や子どもの発達段階に応じた学習機会の提供などを行います。
- (2) 体験活動の推進  
子どもたちの社会性や自主性を育むため、野外活動事業の展開や文化事業活動への支援など、子どもの居場所作り、参加体験型の活動機会の充実に努めます。また、子どもたちと地域の人たちとのふれあいや、異年齢・異世代間交流の機会の充実に努めます。
- (3) 指導員の育成  
青少年が様々な活動や体験に企画・立案段階から参加し、交流を図ることができるよう、地域などにおける青少年指導者の育成に努めます。
- (4) 青少年関係団体活動への支援  
青少年の健全育成を推進するため、青少年愛護協議会や子ども会協議会など、青少年関係団体の活動を支援します。
- (5) 青少年健全育成体制の充実  
地域に根ざした補導委員の活動を目指し、子どもたちの近くに「安心できる大人」がいることが実感できるよう、地域でのあたたかい声かけの取り組みを推進していきます。また、家庭、青少年補導委員、地域団体の協力を得て、補導活動、環境浄化活動を進めます。

## 市民一人ひとりの活動

子どもの発するサインを見落とさないよう、日常の声かけや積極的なサポートに取り組む。

## まちづくり指標

< 指標の考え方 >

家庭は教育の出発点であることから、家庭教育の支援事業を重点指標に位置付けます。また、大人が地域の子子どもたちを見守る社会を実現するため、本計画期間においては、補導委員による声かけを積極的に進めていきます。

重点	指標名	単位	現状値(H18)	目標値(H30)	指標方向
	家庭教育出張講座参加者満足度	%	98.5	100.0	↑
		式	アンケート(とてもよい+よい)/回答数		
H30目標値の設定理由 ニーズに応えた講座を開催することで、現在の高い評価を維持					
	補導委員による子どもへの声かけ回数	回	3,594	4,848	↑
		式	年間延べ活動回数×0.5		
H30目標値の設定理由 過去の実績より、補導延べ活動回数の1/2を目標に設定					
	委員研修参加数(PTAの育成事業)	人	240	400	↑
		式	参加人数/テーマ数		
H30目標値の設定理由 過去の実績より設定					

## 主な部門別計画

西宮市次世代育成支援行動計画

【健康福祉局：平成17年4月～平成22年3月】